

平成28年1月29日

東京都福生市長

加藤 育男 殿

福生市環境マネジメントシステム監査チーム

代表監査員 田中俊朗

副代表監査員 向出香苗

清水 勲

小澤はる奈

環境監査報告書

福生市環境マネジメントシステム（F-e）の平成27年度監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 日時

平成28年1月27日（水）～29日（金）

2. 監査対象

本庁舎	10	実行部門
市民利用施設	4	実行部門
供給処理施設	1	実行部門
教育施設	3	実行部門
指定管理施設	1	実行部門
計	19	実行部門および推進委員会

※監査対象の内3実行部門は平成28年1月13日実施済み。

3. 監査結果集計

	項目	視点	高評価	改善要望
1	環境配慮行動の工夫	目視確認により適正な実施状況を確認。		
2	実行責任者の役割	数値目標に対する認識、市民との協働に向けた意識、職場の特性に応じた環境配慮行動の指導への意識、F・eに関する情報・研修内容との周知への工夫などがあるか。		
3	再エネ・省エネ設備の導入	省エネ型設備、新エネルギー設備について積極的に検討されたか。		
4	市民参加・協働の促進	環境に関する計画、事業、イベントの実施は市民参加を基盤にすることを意識し、市民の巻き込み・連携・情報伝達を行っているか。市民活動の発展への意識を持っているか。		
5	数値目標の管理	数値目標とその達成に向けた活動の関連を意識しているか。未達成の場合、原因の追究と対応策の検討がなされているか。	2	
6	環境学習の推進	地域の特徴やこれまでの取り組みを活かした特色ある環境学習に積極的に取り組んでいるか。学校外部と連携して広がり・深みのある学習活動を展開しているか。	1	
7	前回監査結果のレビュー	監査報告書を読み、水平展開の可能性を検討したか。		1
8	環境配慮行動の工夫	職員ハンドブックの取り組みが挙げられるか。ハンドブックにない独自の工夫などがあるか。	2	
9	環境配慮行動の工夫（発生抑制）	ごみ発生抑制についての認識を持っているか。		
10	施設利用者等への呼びかけ	事業者や施設利用者も活動の中で環境配慮が定着するように促しているか。		
11	数値目標の管理	環境負荷データ、結果の分析を職場内で共有し、職員個人の役割を自覚しているか。		
12	その他	（自由 PR）		
13	推進組織の役割・責任	第2次地球温暖化対策実行計画の達成状況を認識し、今後の方向性を持っているか。		
14	推進組織の役割・責任	F・eの狙いを理解し、市民活動への展開について方向性や問題意識を持っているか。		
15	環境マネジメントの評価・展望	（市長）F・eの狙いと市の温暖化対策、環境協働の関係を認識し、現状をどのように捉えているか。		
16	環境マネジメントの評価・展望	（市長）市の環境政策について、どのような展望を持っているか。		
17	推進組織の役割・責任	（副市長）温暖化対策における問題点を認識し、目標達成に向けた積極的な姿勢を有しているか。		
18	推進組織の役割・責任	（教育長）各校の環境学習を維持・拡大するための支援体制、予算措置などについてどのような方針を持っているか。地域の多様な人材の確保・活用に向けた方針を持っているか。		
—	システム全体	（事務局）システムの運用全般について。	1	
合計			6	1

4. 総合所見

福生市環境マネジメントシステム（F-e）の平成 27 年度取り組み状況監査を実施しました。その結果と所見は以下のとおりです。

（1）監査結果

設問ごとの評価で「特に高く評価したい点」として抽出された取り組みは5つ（事務局を含めると6つ）でした。どの職場でも、職員の環境配慮行動はさらにレベルアップしており、細かな点でも見つけ出して改善していこうとする積極的な姿勢を持つ職員が多くいました。職場を離れた日常生活でも環境配慮行動を実践しているという声も多く聞かれ、取り組みの広がりには期待が持てました。

今年度の優良事例の中で特筆したいのが、取り組みや設備導入の効果を数値で把握し評価する動きが見られたことです。太陽光発電システムを導入したわかたけ会館では、導入前に想定した発電量に対して実績がどの程度かを毎月チェックしており、設備導入の効果を確認しています。リサイクルセンターでは、設備の運転管理を改善したことによる運転時間や電気使用量の削減量を毎日記録し、運用改善の効果を評価しています。こうした動きから、数値の把握・評価に対する意識が向上してきている様子が見えます。設備導入や行動面での改善を行った際の効果の把握・評価は、全庁的に定着させていただくことを望みます。

また、今年度は特に数値目標の設定・管理に着目して監査を行いました。平成 26 年度から数値目標変更申請の制度を導入したこともあり、事務局では例年以上に数値目標の管理についての意識啓発に注力しました。その結果、目標管理への意識を高めた職場も増えてきたようです。しかし、数値目標変更制度や年度当初の目標設定についてすべての職場で十分な理解が浸透しているとは言えない状況も明らかになりました。

「改善をお願いしたい点」として指摘したのは、前年の監査報告書や前回の監査結果について十分な認識がなかった部署でした。日々の環境配慮行動はもちろん重要ですが、過去の取り組みを改善しながら継続するのがマネジメントシステムです。職員の異動による困難さも理解できますが、監査報告書の扱いについて再考し、確実に引き継ぎが行われる仕組みを根づかせていただきたいと思います。

（2）今後に向けて

今後の改善に向けて、以下の3点を提案します。

① 実情に合わせた数値目標設定

数値目標変更制度については監査の中でも伝達してきましたが、最も大事なことは年度当初の目標設定です。その年度の事業（または施設利用者数の増減）の見通しを立て、また近年の傾向を把握し、そこから目標値を設定するのでなければ、目標と実情が乖離したままマネジメントの意義が損なわれてしまいます。研修で目標設定の意義や考え方を丁寧に説明するなど、各部署で意味のある目標設定が行われるよう徹底してください。

② 監査報告書の活用

監査報告書および個別所見は、監査結果を単に記録するものではありません。F-eの取り組みをより良いものにするために全庁で共有していただくための重要文書です。監査対象ではなかった部署も含め、ぜひすべての部署で監査報告書を熟読し、指摘を踏まえて取り組みを改善するためのツールとして活用していただきたいと思います。

③ 市民への波及のための具体策検討

F-eに切り替えた目的の一つに「市民への環境意識・環境行動の波及」がありました。今回の監査では、市民との協働で課題解決に当たろうとしている職場も見られ、頼もしく感じられました。しかし現状では、地球温暖化問題・気候変動の現状を認識し、行動を起こしている市民は大多数ではありません。今後、どのように市民に意識や行動を広げていくのか、その具体策について検討し実施すべき時期に来ていると考えます。環境推進委員会でも重要な議題として捉え論議していただきたくことを望みます。

環境推進委員会では、市の環境配慮行動や環境政策をどのように展開していくのか、ぜひ明確な方針を打ち出してアピールしていただきたいと思います。F-eの取り組みをさらに発展・充実させるためには、トップマネジメントの強い姿勢を示していただくことが有効だと思います。

5. 監査チームからの提言

今年度監査対象となった各実行部門における取り組みのうち、全庁的に水平展開することが望ましいと考える取り組みを以下に記します。また、監査チームミーティングで提案されたアドバイスも記載します。水平展開の可能性について検討してください。

実行部門名	関連する設問 No.	取組内容
公民館	8	コピー機の「製本機能」などその他の機能も活用することで、作業効率の向上を図ることができます。
まちづくり計画課	8	蛇口の閉め忘れと確認漏れによる水道使用量増加の再発防止対策。節水・節電の注意を一般的な文言から具体的なチェックポイントを記述した注意喚起文書に変更して掲示するとともに、確認を徹底しています。
リサイクルセンター	8	これまで廃棄物として業者に引き取らせていた物を職員が選別して、資源化できる鉄を売ることにより市の収入になりました。このことにより今まで業者に支払っていた費用の削減にもつながりました。
福生第三小学校	8	ごみの分別で児童たちがどうしてもわからない物を入れるごみ箱「? (はてな) 箱」を作っていました。
生涯学習推進課、公民館	8	昼休み当番の職員がその日の F・e 担当 (環境担当) として、照明や PC 電源 OFF のチェックを行います。
子ども育成課	10	プレイパークでままごと遊びを目的として給食センターよりお下がり食器を貰いましたが、当日は豚汁を配布するリユース食器としても利用できました。このことから、他イベントにも広がりをもてると思われました。防災食育センターへの移行を機に、食器類お下がりでのリユースを模索できるのではないかと思います。

6. 監査項目ごとの所見

監査担当班において「特に高く評価したい点」または「改善・修正を検討されたい点」を整理した結果を、監査項目ごとに記述します（特記事項のない項目を除く）。

↓質問番号 ↓質問内容 ↓監査の視点

5	数値目標の管理	数値目標とその達成に向けた活動の関連を意識しているか 未達成の場合、原因の追究と対応策の検討がなされているか
---	---------	---

◆特に高く評価したい点

わかたけ会館 わかたけ会館改良工事が完了し、エネルギー使用量等の数値目標に対する実績は、全ての項目で大きな成果が上がっていました。

太陽光発電の導入時に計画した発電能力と全館電気使用量の想定値の削減を意識した管理がされていました。稼働後毎月データ化が行われていました。これにより設備導入の効果確認と評価ができる管理ができています。

今後新規や更新設備導入の際は他の部署でも参考にさせていただきたいと思います。

担当：1班

リサイクルセンター 使用する電気を時間単位で計測したことで、計画的、効率的に機械設備を稼働させることができ、節電が図られました。施設の老朽化という共通課題から昨年度の監査報告書に掲載されていた市民会館の施設管理方法を取り入れ、水平展開を実施した結果、電気使用量 276,600kwh の減（目標値 6%減）を達成されました。

担当：2班

6	環境学習の推進	地域の特徴やこれまでの取り組みを活かした特色ある環境学習に積極的に取り組んでいるか 学校外部と連携して広がり・深みのある学習活動を展開しているか
---	---------	---

◆特に高く評価したい点

福生第三小学 環境フェスティバルに今年度初めて参加されました。用務主事の活動をパネル展示するものでした。環境フェスティバルに学校も積極的に参加していただきたいので、その先駆けとして高く評価したいと思います。

担当：3班

7	前回監査結果のレビュー	監査報告書を読み、水平展開の可能性を検討したか
---	-------------	-------------------------

◆改善・修正を検討されたい点

協働推進課 実行責任者が、昨年度の監査報告書について確認されておらず、担当：2班
質問に返答できませんでした。監査報告書の重要性が理解されていないように感じました。

8	環境配慮行動の工夫	職員ハンドブックの取り組みが理解・実践されているか ハンドブックにない独自の工夫などがなされているか
---	-----------	---

◆特に高く評価されたい点

まちづくり計画課 蛇口の閉め忘れと確認漏れによる水道使用量増加の再発防止対策として、節水・節電の注意を一般的な文言から、具体的なチェックポイントを記述した注意喚起文書に変更して掲示しました。その後は職員も確認し徹底しているとお話がありました。この注意喚起文書については、同様の施設でも水平展開したら良いと思います。 担当：2班

リサイクルセンター 平成22年度に職員が廃棄寸前のパソコンをもらい下げ、太陽光発電のモニターとして設置しました。今年度は、手動式であったこの画面の変換をタイマー式に改良したことにより、操作上の手間の削減や節電の効果を上げました。これまで業者に委託して引き取らせていた廃棄物を分別し、鉄くずについては資源として売り払い、市の収入とし、廃棄する手数料を削減しました。 担当：2班

事務局 —	職員研修の実施・情報提供	F-eの取り組みを効果的に進めるために適切な研修が行われているか
----------	--------------	----------------------------------

◆特に高く評価されたい点

事務局 職員研修で市民監査員の代表が講師を務め、参加した職員の反応も良かったということでした。初めての試みでしたが良い成果が出たようです。監査員の声を直接伝える機会があることは、良い取り組みだと思います。 担当：全員